

施策評価管理シート

2012(平成24)年7月作成

担当部局名	部長名	連絡先 (担当室名)
生活環境部	夏秋 佳生	63-7492 (環境対策室)

施策体系	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本施策	2	循環型社会の創造
	施策	1	省資源・省エネルギー

1. 施策の基本方針

Plan

- 省資源・省エネルギーや資源の有効活用に取り組み、地球環境にやさしい持続可能な社会を創造します。

2. 目標

重点目標

Plan

- 省エネ法の改正に伴い、名張市環境EMS、名張市地球温暖化対策実行計画の目標達成のための管理を行います。

目標達成に向けた課題

Plan

- 日常生活で省資源・省エネルギーを心がけている市民の割合が平成20年度に比べて若干の減少があります。

施策指標 (目標) 及び達成状況

Plan

Do

施策指標 (目標) の内容 (単位)		現状値 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2015 (H27)	進捗率
日常生活で省資源・省エネルギーを心がけている市民の割合 (%)	目標	-	-	-	-	96.0	99.0	
	成果	93.1	90.7	90.3	90.1			0%
市の事務事業にかかる二酸化炭素排出量 (t) (2009年～法改正に伴い目標値の変更、 現状値は2009(H21)年度値)	目標	-	-	-	-	11,300	11,065	
	成果	11,771	11,771	11,368	11,068			100%
ISO14001などの環境マネジメントシステム導入事業所数 (社)	目標	-	-	-	-	18	20	
	成果	16	11	12	10			0%
太陽光発電による市内の年間発電量 (kw/h)	目標	-	-	-	-	1,192,000	1,403,000	
	成果	912,000	963,000	1,221,000	1,869,000			100%

3. 取組内容

課題解決への取組内容

Do

- 名張市環境EMSの取組み、環境学習の実施、広報を通じた啓発に取り組みました。
- 市庁舎におけるクールビズ期間の延長、緑のカーテンに取り組みました。
- 小水力発電の設置の可能性についての検証を行いました。

地域等との連携、協働に向けた取組

Do

- 省エネルギーについて、市民団体、地域団体、住民、事業者と連携及び協働を積極的に進めました。
- 市内事業所に対し、省電力の取組の要請をしました。

4. 施策達成のための事務事業及び評価

(合計 0 事業)

Do

Check

事務事業シート番号	事業名・担当室名	事業費 (単位：千円)		事務事業シートでの今後の方向	施策達成への貢献度	施策達成への重要度
		2010 (H22)	2011 (H23)			
合計（単位：千円）		0	0			
小計（うち、一般会計分）		0	0			
小計（うち、特別会計・企業会計・組合会計分）		0	0			

5. 部局による施策評価

Check

評価
事業推進の一部改善
成果・評価理由
<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災直後の原発事故の影響を受け、恒常的な電力不足が続いており、太陽光発電等自然エネルギーへの転換要請の高まりとともに、支援制度、電力買取制度の充実等により、市内での太陽光発電量が急増しました。 ・日常生活で省資源・省エネルギーに心がけている市民の割合は高い水準で推移していますが、ほぼ横ばい状態にあります。

6. 今後の施策の方向性、改善方法

Action

<ul style="list-style-type: none"> ・環境学習や啓発の回数・内容の充実を図り、省資源・省エネルギーの意識高揚に取り組みます。 ・恒常化しつつある電力不足を補うことのできる新しいエネルギーの開発（太陽光、風力、小水力等）に向け、国の支援制度の研究、活用に取り組みます。
--

7. 総合評価

評価
B 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われている
評価理由及びその他（意見）